

第3回 群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議議事要旨

日 時：令和3年1月28日（木）9：57～11：54

開催方法：Web（Zoom）＜ホスト会場：群馬大学本部管理棟大会議室＞

出席者：児島、石崎、塚越（聖）、北川、山口、高木、塚越（日）の各委員

欠席者：なし

議事に先立ち、委員全員が出席していることから会議が成立することを確認した。

次に、第2回（1月15日）の会議議事要旨（案）の確認を行い、案のとおり承認した。

I 審議事項

（1）群馬大学医学部附属病院長候補適任者の面談について

児島議長から、群馬大学医学部附属病院長候補適任者の面談方法について説明があった後、群馬大学医学部附属病院長候補適任者2名に対して、推薦受付順に面談を実施した。

（2）群馬大学医学部附属病院長候補者の学長への推薦及び選考理由について

児島議長から、病院長選考会議の今後の予定（案）について説明があり、原案どおり了承された。

続いて、児島議長から、学長に推薦する群馬大学医学部附属病院長候補者の選考を実施し、2名それぞれについて、群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準に照らして審議した結果、第一の候補者に齋藤 繁氏、第二の候補者に村上正巳氏を群馬大学医学部附属病院長候補者として学長に推薦することを決定した。

なお、齋藤繁氏を候補者として推薦するにあたって、委員から次のとおり意見があった。

- ・ 病院内の細部に渡る状況を把握し、中・長期的なビジョンを明確に持っている。
- ・ 大学病院としての役割を果たすため、職員の意識の高揚に積極的に取り組む姿勢を明確にしている。
- ・ 多職種によるチーム医療のためのコミュニケーションや中途採用の多い医師等への医療安全の教育・指導、患者に対するリスクコミュニケーションの重要性など、具体性と熱意がある。
- ・ 今までの経験に基づいた問題点を自分の言葉で分かりやすく発信するなど、リーダーとして必要な優れた要素を備えている。
- ・ 麻酔科蘇生科において群馬県内の医師の配置について努力されており、他の診療科も含めて地域医療への貢献も期待できる。

また、村上正巳氏を候補者として推薦するにあたって、委員から次のとおり意見があった。

- ・ 広く病院の管理運営に関わってきており、それらを活かした病院運営に取り組もうとする意欲がある。
- ・ まじめに地道にコツコツとやられて成果を挙げられている。
- ・ 医療安全の中心として取り組んできた実績は評価できる。
- ・ 医療関係者との人脈も確固たるものを築いており、行政との連携も期待できる。
- ・ 群馬大学及び群馬県の臨床研修医の増加に尽力されている。

以 上